

福島県立視覚支援学校・福島県立聴覚支援学校福島校

【発行所】

福島県立視覚支援学校・
福島県立聴覚支援学校福島校
後援会

〒960-8002 福島市森合町6番34号

TEL 024-534-2574

FAX 024-533-2470

E-mail fukushima-sb@fcs.ed.jp

後援会会報

第13号

「温かい優しい ご理解ご支援に感謝して」

福島県立視覚支援学校・聴覚支援学校福島校 後援会長 西山 尚利



会員皆様には本会の活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は年度当初に新型コロナウイルスにより全国に緊急事態宣言が発令され、卒業式も入学式も初めての形態となるなど不安なスタートとなりました。さらに福島市においては昨年末に新型コロナウイルス感染症による緊急警報が発令され緊張感のある年末年始となりました。そのような厳しい制約のある環境の中にあつて、おかげ様で今年度も、視覚支援学校・聴覚支援学校福島校で学ぶ幼児・児童・生徒が自分の目標に向かい学習・体育活動に励み、生活全般にわたり充実した時間を過ごすことが出来ましたことに厚く御礼申し上げます。今年も新型コロナウイルスの影響で「新しい生活様式」の中での日常が続きますが、一人一人が自分自身を守るため・一緒にいるみんなを守るため思いやりと共助の心で過ごして行ければと思っております。また、コロナ禍で拡大したオンラインを活用した学びや繋がりを大切にしながら、新しい体験を増やしそれを力に変えて子ども達が成長していくことを見守って行きたいと思っております。

どのような状況にあつても、子どもが学校や地域・社会で共に学び、共に生きる教育を推進するという理念のもとこれからも後援会活動を続けてまいります。引き続き、学校教育の充実発展のため、後援会活動に対しましても一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本年がみなさまにとりまして平和な優しい温かい一年となりますようお祈りいたしましてご挨拶いたします。感謝

「ご理解とご支援に御礼申し上げます」

福島県立視覚支援学校長・聴覚支援学校福島校分校長 橋本 淳一



後援会会員の皆様には、日頃より、視覚支援学校及び聴覚支援学校福島校の教育活動に、ご理解とご支援をいただいておりますことに、心からの感謝と御礼を申し上げます。

さて、令和2年度の両校の幼児児童生徒は、新型コロナウイルス感染症対策を意識しながらも、学習や行事等の制約を乗り越え、元気に学校生活を送ることができました。これは、国や県の感染症予防にかかる対策のみならず、後援会会員様を始めとして、両校を支えてくださる多くの皆様のご支援があったからこそと考えております。

口の動きが見えるようにと、聴覚支援学校福島校には、透明マスクの寄贈がありました。視覚支援学校には、安心して物に触れて確かめることができるようにと、消毒液をいただきました。その他、いただいた会費からも、多くの衛生用品を購入させていただき、感染予防に活用することができました。今年度、長く続いていた校庭整備工事が10月に完了し、両校児童と一緒に「走り初め式」を行いました。元気に校庭を走る姿に、これからも両校の子どもたちが、存分に力を発揮し活動できるような、安心・安全な教育の場の提供に努めていかなければならないとの思いを強くいたしましたところ です。

どうか皆様には、今後ともご健康・ご多幸でありますとともに、引き続き両校に関心を寄せていただき、教育活動へのご理解とご支援をいただければ幸いですようお願いいたします。



教育活動報告



会員の皆様よりいただいた会費は、視覚支援学校・聴覚支援学校福島校の教育活動の中で、有効に使わせていただいております。ここでは、多くの補助を受けて実施された教育活動の中から、学校行事での幼児、児童生徒の様子を紹介いたします。

小学部 「ふくしま教育週間学校公開」～学習成果の発表～

小学部児童3名は、体育や自立活動の取組みを発表しました。個人の発表では、巧技台や平均台を使ったアスレチック、縄跳びなど自分の技を披露しました。一人一人が自信を持って生き生きと発表する姿に、大きな拍手をいただきました。その後のボール運動（投げる、蹴る）は、保護者や教員も参加しゲーム形式で行いました。コロナ禍で運動会が中止になった今年でしたが、あらためて皆で運動する楽しさや喜びを味わうことができた発表会となりました。
(小学部主事 高橋 和代)



中学部 「職場体験」

後期進路週間の11月20日(金)、2年1組の生徒2名が、「ペット・マム南福島店」と「いちいフォーズマーケット」の協力を得て、それぞれ約半日間、実際の職場で働く体験を行いました。この日に向け、学級で、働くことの意義や社会人の姿・心得等について学習を積み重ねて臨みました。体験では、初めて経験する興味ある仕事への喜びと、お店の方の丁寧な指導や励ましもあり、生徒たちは、一番大切な働くことの楽しさを学んでくることができました。
(中学部主事 岩崎 実)



高等部普通科「クリスマスジョイントコンサート2020」

本校普通科の生徒は、この日のために箏の練習を行ってきました。しかし今年のジョイントコンサートですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、他校との交流形式では実施できませんでした。練習の成果をなんとか発表する機会を作りたい。ビニールシートを張り、感染予防対策を十分に講じて、校内での発表会を実施しました。長年交流を続けてきたこの交流は、来年は他校との交流として実施できればと願います。

(高等部普通科長 大橋 昌弘)



高等部理療科 「臨床体験発表会」

12月23日に令和2年度臨床体験発表会が、新型コロナウイルス感染症対策を行い、例年の日程を変更し開催されました。

午前は2部構成で、はじめに理療科生徒による4題の研究発表が行われました。美容に対するマッサージや鍼の効果や筋疲労に対する刺激の違い、国試出題内容と実際の臨床との関連についてと、今年のテーマも様々でしたが、いずれも先行研究を踏まえ評価や刺激方法などが検討・工夫されており、非常に興味深い発表となりました。

午前の部の後半は、特別企画1として、「理療科とともに歩んだ道」をテーマに、3名の先生方を囲んでのシンポジウムでした。日頃聞くことのできない、「素」の部分がたくさんお話しいただき、生徒は自分と重ね、そして共感しながら、真剣に話を聞く姿が印象的でした。

午後は、特別企画2として、理療科進学希望の普通科生も参加し、シネメデュケーションという、医療に関する映画を教材にディスカッションをするという新企画でした。映画のシーンの解説を聞きながら、自分の意見をまとめ、他者の意見を通して考察を深めるといふ、生徒参加型の企画で大いに盛り上がりました。

コロナ禍による変更を余儀なくされましたが、その中での新たな企画が大変素晴らしいものであり、次年度以降も続けたいと思うほど、充実した臨床体験発表会となりました。

(高等部理療科長 小池 佳郎)



聴覚支援学校福島校 幼稚部「秋の遠足」・小学部「学習発表会」

〔幼稚部〕

10月23日(金)に秋の遠足としてあづま総合運動公園に行きました。サイクル広場等での活動を予定していましたが雨天となったため、室内での活動に切り替えました。サブアリーナで行った紅白に分かれての玉入れや風船バレー、軽運動室・幼児体育室での自由遊びなどでたくさん体を動かしました。運動の後には、美味しいお弁当を食べ、思い出に残る一日となりました。「楽しかったね。」「みんなでもた来たいね。」など子供たちも笑顔で話していました。



〔小学部〕

10月31日(土)に学習発表会を実施しました。例年は交流及び共同学習として福島市立第四小学校と一緒にっていますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため学校ごとに行いました。小学部の劇「ぼく、わたしの楽しい学校」では、朝の会や各授業、帰りの会といった一日の学習の様子を発表しました。また、歌詞を手話で表現する手話歌も発表し、たくさんの拍手をいただきました。日頃の学習や練習の成果を発揮できた発表会となりました。

(聴覚支援学校福島校教頭 大竹奈保子)



校庭が完成しました！「走り初め式」

令和2年11月18日（水）に、両校の小学部の児童が完成したばかりの校庭に集い、「走り初め式」をしました。青空の下、校庭に引いたまっすぐなラインを目印に、元気いっぱい走る姿が眩しく、完成を喜ぶ気持ちが伝わってきました。地域や保護者の皆様、これまでご支援、ご尽力いただいた関係各位の皆様へ感謝して、児童生徒の学びや健やかな成長へ向けて、大いに活用させていただきたいと思っております。



令和2年度

会費等の御協力をいただいた方々及び団体（敬称略）



今年度も、在籍している幼児児童生徒の保護者の皆様にご協力をいただきました。ここには、ご協力いただいた旧職員の皆様及び特別会員・関係団体の皆様のみ記載させていただきますので、ご了承ください。

株式会社福よし
伊達市保原町工業団地懇話会
守工業株式会社
株式会社トヨネスト
有限会社大野建築設計事務所
福島テレビ株式会社

阿部 稔也	小野 誠子
阿部 教夫	小野 貴則
安藤 俊典	加藤 由香里
五十嵐 登美	菅野 典子
石川 浩	菅野 美恵子
伊藤 信也	櫛田 省吾
伊藤 志津子	熊谷トモ子
海野 薫	栗村 美智子
江口 和子	古関 綾子
大井 弘子	小檜山 宗浩
小川 令子	小山 久美
小野 純子	齋藤 和也
小野 祥一郎	齋藤 洋之

齋藤 浩之
佐藤 健一
佐藤 浩士
佐藤 正雄
嶋原 弥
宍戸 里依子
宍戸 英樹
篠田 路子
庄子 紀子
鈴木 健一郎
須田 康仁
平 祥江
高橋 英明
高橋 富士子
田嶋 まゆみ
丹野 功一
千代 行雄
千代 則子
中野 美佐枝
中村 雅彦
七宮 弘暁
西間木 薫
二瓶 恵美子

二瓶 睦
芳賀 孝美
原 江理歌
原田 道久
蛭田 隆
廣畑 紀夫
古川 洋子
宝槻 千賀子
宝槻 久和
堀江 静子
本田 富治
松田 豊志子
松永 日止志
間船 博
武藤 永治
村上 卓
望木 昌彦
八城 香奈子
柳内 泰二
藪内 敬子
八巻 宏子
山岸 芳和
渡部 経子

渡邊 知美
渡辺 勝
渡邊 葉子

各市町村
会津若松市
いわき市
国見町
郡山市
鮫川村
白河市
相馬市
伊達市
天栄村
西郷村
二本松市
福島市
本宮市

トピックス

清掃用具を新調していただき、アルコール消毒とも並行して、校舎内をさらに清潔で美しく保てるようになりました☆



編集後記



日頃より本後援会にご理解とご支援をいただき、感謝しております。本紙面を通して幼児児童生徒の様子と本会の事業内容についてご理解いただければ幸いです。これからも本会活動充実に向けて努力して参りますので、今後ともご支援をよろしく願いたします。